

さきたま

埼玉県鍼灸師会は厚生労働大臣免許保有者でつくる県内唯一の「はり師」及び「きゅう師」専門の公益社団法人です。

第178号

平成30年7月1日
発行

公益社団法人 埼玉県鍼灸師会

会長 河原保裕

事務所

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-3-1
第2大矢部ビル 2F東

TEL 048-645-0416

HPアドレス <http://saitama.harikyu.or.jp>

事務所メールアドレス saishinkai@gold.ocn.ne.jp

(広報委員長) 大谷尚子

(編集委員長) 阿部琴美

行事予定表

7月
15日(日) 平成30年度 第1回療養費等
適正運用研修会
22日(日) 療養費等個別指導会
8月
19日(日) 臨床鍼灸スポーツフォーラム
26日(日) 療養費等個別指導会

平成30年度 第1回療養費等適正運用研修会のお知らせ

今年度は療養費取扱いに関する大きな改正があります。多くの方のご出席をお願いいたします。

日時:平成30年7月15日(日)

午後1時10分～午後4時10分

会場:さいたま共済会館 601号室

内容:講演「受領委任制度に向けて」
保険取扱い実績・不支給状況
取扱い注意事項
DKシステムについて

参加費:会員無料



厚生労働大臣免許保有証申請の 事務手続きについて

厚生労働大臣免許保有証を希望される先生は埼玉県鍼灸師会事務所(TEL048-645-0416)にて手続きを受け付けます。あらかじめ、埼玉県鍼灸師会にご連絡のうえ、受付日時に必要書類をご持参ください。また、手続き代金は会から指定された口座に受付日前にお振込みください。必要書類等については鍼灸会HPからダウンロードしてご使用いただけます。詳細は鍼灸会HPでご確認ください。

受付日時:7月22日(日)、8月26日(日)の午前10時～正午

鍼灸会会員は郵送にて手続きを受け付けます

公益社団法人日本鍼灸師会 第9回 臨床鍼灸スポーツフォーラム in埼玉のお知らせ

期 日:平成30年8月19日(日)

会 場:ラフォーレ清水園

(さいたま市大宮区東町2丁目204号)

事前参加登録は

URL:<https://goo.gl/forms/JRW0vEwdDBNBrQRh1>より行ってください。また、FAXでの事前参加登録をご希望の方は鍼灸会事務所(TEL048-645-0416)までご連絡ください。

参加費:事前申し込み 日鍼会会員、埼玉会会員4,000円、
後援・関連団体会員、ぶらまいさんPlus4,000円、
一般5,000円、

当日申し込み 日鍼会会員、埼玉会会員5,000円

後援・関連団体会員、ぶらまいさんPlus5,000円、

一般8,000円、育成学生1,000円、一般学生2,000円

懇親会 6,000円

※事前申し込み及び懇親会費は8月2日までに「埼玉りそな銀行 北浦和支店 普通預金 4167452 鍼灸会財務 柴田浩平(サインカイザイム シバタコウヘイ)」にご入金ください。

テーマ:わが国におけるスポーツ鍼灸の現状と今後の展望
プログラム

■シンポジウム1(午前10時～午前11時50分)

「日本におけるスポーツ鍼灸の現状と課題」

基礎 筑波技術大学講師 近藤 宏先生、

臨床 筑波大学東京オリパラ総合企画室 宮本 俊和先生

呉竹学園東洋医学臨床研究所長補佐 金子 泰久先生

長野オリンピック対応 長野盲学校教諭 加藤 秀一先生

指定発言 東京オリパラに向けて 花田学園AT総括部長 溝口 秀雪先生

■県民公開講座(午後1時～午後1時50分)※県民公開講座のみ参加費無料

「あなたの自然治癒力を高める鍼灸治療の科学—自分でできるツボ健康法—」

埼玉医科大学東洋医学科講師 山口 智先生

■教育講演(午後2時10分～午後3時)

「スポーツ外傷・障害の予防とその対策」

埼玉医科大学整形外科教授 立花 陽明先生

■シンポジウム2(午後3時10分～午後4時50分)

「スポーツ障害の臨床、最近の進歩—鍼灸治療に期待すること—」

・肩関節 埼玉医科大学整形外科講師 坂口 勝信先生

・腰部 早稲田大学スポーツ科学学術院教授 金岡 恒治先生

・膝関節 小川赤十字病院整形外科部長 山崎 克彦先生

・足関節 川口工業総合病院副院長、整形外科部長 荻内 隆司先生

■基調講演(午後5時～午後5時30分)

「国民の健康保持増進に期待する鍼灸治療—統合医療の新たな展望—(仮)」

厚生労働大臣 加藤 勝信様

■懇親会(午後6時～午後7時30分)



病気について学ぼう

とびひ

「とびひ」とは俗名で、正式病名は伝染性膿痂疹(でんせんせいのかかしん)と言います。細菌による皮膚の感染症で、接触によりうつって、火事の飛び火のようにあっと言う間に広がるから、例えて「とびひ」と言うのです。

とびひ(伝染性膿痂疹)は子供に発症しやすい水疱性膿痂疹(すいほうせいほうかかしん)と、大人が発症しやすい痂皮性膿痂疹(かひせいほうかかしん)の2種類に分けられます。

■水疱性膿痂疹

かゆみをとまなう小さな水疱が現れます。水疱は少しずつ大きくなり、次第に膿が内部に蓄積されて膿胞へと変化していきます。当初は透明ですが、徐々に黄色がかっていきます。水疱や膿胞は破れやすく、爪などで破るとただれてしまいます。その掻いた爪には原因菌(黄色ブドウ球菌)が付着しており、その手で他の部位を掻くと、そこにも水疱が現れます。

■痂皮性膿痂疹

皮膚が赤く腫れ、膿胞が発生します。膿胞が破れてただれ、そこに厚いかさぶたが作られます。水疱性膿痂疹と同じく次第に全身へ広がっていきます。ただ、膿胞はかゆみではなく痛みをとまなうことが多く、発熱やリンパ節の腫れなどが起こるといふ点異なります。重症化すると、原因菌(溶連菌)が生産する毒素が全身に広がり、全身が赤くなる場合があります。まれに糸球体腎炎という腎臓の炎症が起こり、タンパク尿や血尿が出ることがあります。

■とびひにかかる原因

水疱性膿痂疹と痂皮性膿痂疹では、原因菌が異なります。水疱性膿痂疹の原因菌は黄色ブドウ球菌です。のどや皮膚、鼻の中などに常在しているため、誰もが感染する可能性があります。通常では、とびひを引き起こすことはありませんが、傷や虫刺されの部分から侵入すると、とびひを引き起こします。

痂皮性膿痂疹の原因菌はA群β溶結性連鎖球菌ですが、黄色ブドウ球菌による感染も同時に起こすことがあります。体内への侵入経路は水疱性膿痂疹と同じです。

■とびひはうつる?

黄色ブドウ球菌や溶血性連鎖球菌は人の常在菌であるため、とびひそのものがうつることはありません。しかし、水疱を掻き壊して排出された内容液に触れることで、皮膚に菌が付着し、その手で傷を触るととびひを発症するおそれがあります。

アトピー性皮膚炎など肌が乾燥しがちな人は、肌に細菌が侵入しやすいため、とびひがうつりやすいといわれています。高齢者も同様に皮膚のバリア機能が低下しているため注意が必要です

■とびひの予防

入浴し、皮膚を清潔にしましょう。

とびひを発症させてしまった場合も、発熱などの全身症状がない限り、入浴させ、泡だてたせっけんで病変部をそっと丁寧に洗い流します。湯船に入らず、シャワーが良いでしょう。

鼻の下から発症する膿痂疹をしばしば見ますが、鼻前庭(鼻孔からはいつてすぐのところ)はブドウ球菌などの細菌の温床で、常在菌としてもブドウ球菌が証明されることもあります。小児には鼻孔に指を突っ込まないように指導します。

手洗いの励行、爪を短く切り、かきむしって皮膚に傷つけたりしないようにさせることが大切です。

旬の食べ物を食べて元気になるう!

今回の旬の食べ物は「とうもろこし」です。

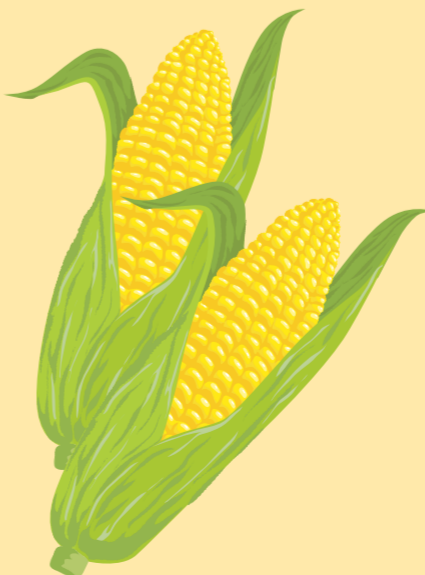
とうもろこしは米・麦に並び世界三大穀物として世界中で食べられています。とうもろこしの歴史は古く、最古は古代文明まで遡ります。日本には安土桃山時代に、唐からやってきたために唐(とう)からきた「きび(もろこし)」で「とうきび」や「とうもろこし」と呼ばれるようになったそうです。

とうもろこしの主成分は炭水化物で、そのため高カロリーでエネルギーの補給源となります。また粒の周りの皮は不溶性食物繊維で、腸の蠕動運動を促し、便秘の解消に有効です。

そして茹でて手でむくと、根っこの部分(胚芽)までしっかり取れますが、実はこの胚芽に栄養がたっぷり詰まっています。胚芽には血流を良くして肩こりの改善や顔を明るく見せるビタミンE、糖質や脂質の代謝に欠かせないビタミンB群も多く含まれます。

夏はジュースやアイスで糖分をとりがちなの季節ですから、夏太り予防にも効果が期待できます。疲労回復効果を持つアスパラギン酸や免疫機能を向上させるアラニンなどを含んでいるので、夏バテしやすい今の季節にはもってこいの野菜です。

今年の夏も例年通り暑いようですので、旬の食べ物を食べて元気に過ごしてください!



協賛各社
(順不同)

医道の日本社・ホシノ医療機器株式会社・ヨシダ商事・アフラック募集代理店 株式会社むらた・カナケン・セイリン株式会社・昭和エンタープライズ・ソーシンメディック